

本調査研究の概要

モビリティサービス提供へのICT技術活用及びそれを促進又は実現させる仕組みについて、モビリティシステム及び計画改善に向けたICT技術を通じ収集したデータ活用に着目し、欧州3か国（ドイツ、イタリア、スウェーデン）の先進事例を調査。

結果概要

ビジネスモデルが異なる2つのMaaS

実証実験の展開

- スウェーデンのストックホルムでは、世帯毎のサブスクリプション形式（UbiGo）と従量課金制（Travis）といったビジネスモデルの異なる2つのMaaS事業者による実証開始。
- コロナ禍以降も事業を継続するのは、交通機関係の従量課金モデルを採用したTravisのみ。

	UbiGo	Travis
運営体制・ステークホルダー	同名のスタートアップ企業が提供。アプリ開発はオーストリアのFluidtime。ストックホルム地域政府が協力。	北欧大手バス事業者Nobinaが開発・提供。開発中の郊外の新興住宅地で実証。ストックホルム都市圏全域に拡大。
サービス・技術	世帯毎のサブスクリプション形式（毎月定額）で様々な移動手段が利用可等。	従量課金形式。アプリ上でマルチモーダル経路を検索可。一部事業者への支払・切符表示も可。
経過・現状	ヨーテボリの実証実験を経て、2019年にストックホルムでの商用利用開始。2021年に資金不足で営業停止。	2016年MaaSの試験運用を開始。2019年アプリ開始。2020年末自治体協力の実証実験完了後もNobinaが独自に開発運用継続。

モビリティ同盟によるサービス連携の強化

- 欧州委員会の持続可能な都市モビリティ政策施策（CIVITAS DYN@MO）にて、アーヘン運輸連合（AVV）を中心にモビリティ同盟を結成。その一環として、AVVはマルチモーダルな経路検索・予約プラットフォーム「avvmulticonnect.de」を開発公開。
- AVV所属の公共交通、カーシェアリング、バイクシェアリング、自家用車、徒歩を組み合わせ、都市圏内の経路検索及び予約が可能。



AVV所属の事業者ASEAGのバス

モビリティデータ活用に関する政策、法規制及び施策

- 欧州の公共部門情報のオープンデータ活用やガバナンス、個人情報保護に関する指令及び規則が制定及び施行。
- 予算には、先駆的又は持続可能なモビリティに関する助成プログラム（Interreg、Horizon、CIVITAS及びCEF-T）が整備されており、都市におけるICT技術の活用にも寄与。